

地学基礎	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間
------	-----	-----	---------	------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>地学現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目標とする。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地学現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 地学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>あわせて2年次においては、生徒の進路選択に資する興味関心の喚起を目指す。</p>
使用教科書・副教材等	<p>教科書「高等学校 地学基礎」数研出版</p> <p>図表「ニューステージ 新地学図表」浜島書店</p> <p>問題集「ベストフィット」実教出版、</p> <p>「リードLight ノート地学基礎」数研出版</p>

2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	考査範囲	時数
第1学期	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造	4	・地球の概観について学ぶ。さらに、地球の詳しい形やその内部構造を学ぶ。	各考査間の学習範囲を指示する。	25
	第2章 プレートの運動	5 6	・地震や火山のような、活動する地球の特徴を理解し、地球上に分布するプレートと関連付けて学習する。		
	第3章 地震		・地球の表層をつくる岩石について、火成岩を中心に標本を用いながら、成因や構成する鉱物の特徴などを学習する。		
	第4章 火山	7			
	第3編 移り変わる地球 第1章 地層の形成		・堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する		
			<p>上記の基本的知識を身に付けている</p> <p>【知識・技能】</p> <p>上記の観察・実習を行い科学的に施行し、その過程を表現できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>上記の地学に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>		
			【知識・技能】 ○定期テスト (90%) ○課題・授業プリント (10%)		
			【思考・判断・表現】 ○定期テスト (80%) ○実習・観察レポート (20%)		
			【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業態度 (40%) ○実習・観察レポート (60%)		
			【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。		

第 2 学 期	第3編 移り変わる地球 第2章 古生物の変遷と 地球環境	8 9	・生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。	各考査問の学習範囲を指示する。	30
	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支	10	・大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。		
	第2章 大気と海水の運動	11 12	・地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。 ・日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。		
	第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と 日本の自然環境		・地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。		
			上記の基本的知識を身に付けている 【知識・技能】 上記の観察・実習を行い科学的に施行し、その過程を表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 上記の地学に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】		
【知識・技能】 ○定期テスト (90%) ○課題・授業プリント (10%)					
【思考・判断・表現】 ○定期テスト (80%) ○実習・観察レポート (20%)					
【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業態度 (40%) ○実習・観察レポート (60%)					
【2学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。					

第 3 学 期	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽 第2章 宇宙の誕生 まとめ	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生、太陽系の誕生について学び、天体の運動や惑星の特徴について、写真やビデオ等を通して学習する。 ・履修範囲の復習を行う。 <p>上記の基本的知識を身に付けている</p> <p>【知識・技能】 上記の観察・実習を行い科学的に施行し、その過程を表現できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 上記の地学に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	各考査間の学習範囲を指示する。	1 5
	【知識・技能】 ○定期テスト (90%) ○課題・授業プリント (10%)				
	【思考・判断・表現】 ○定期テスト (80%) ○実習・観察レポート (20%)				
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業態度 (40%) ○実習・観察レポート (60%)				
	【3学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。				
	【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の5段階評定とする。				